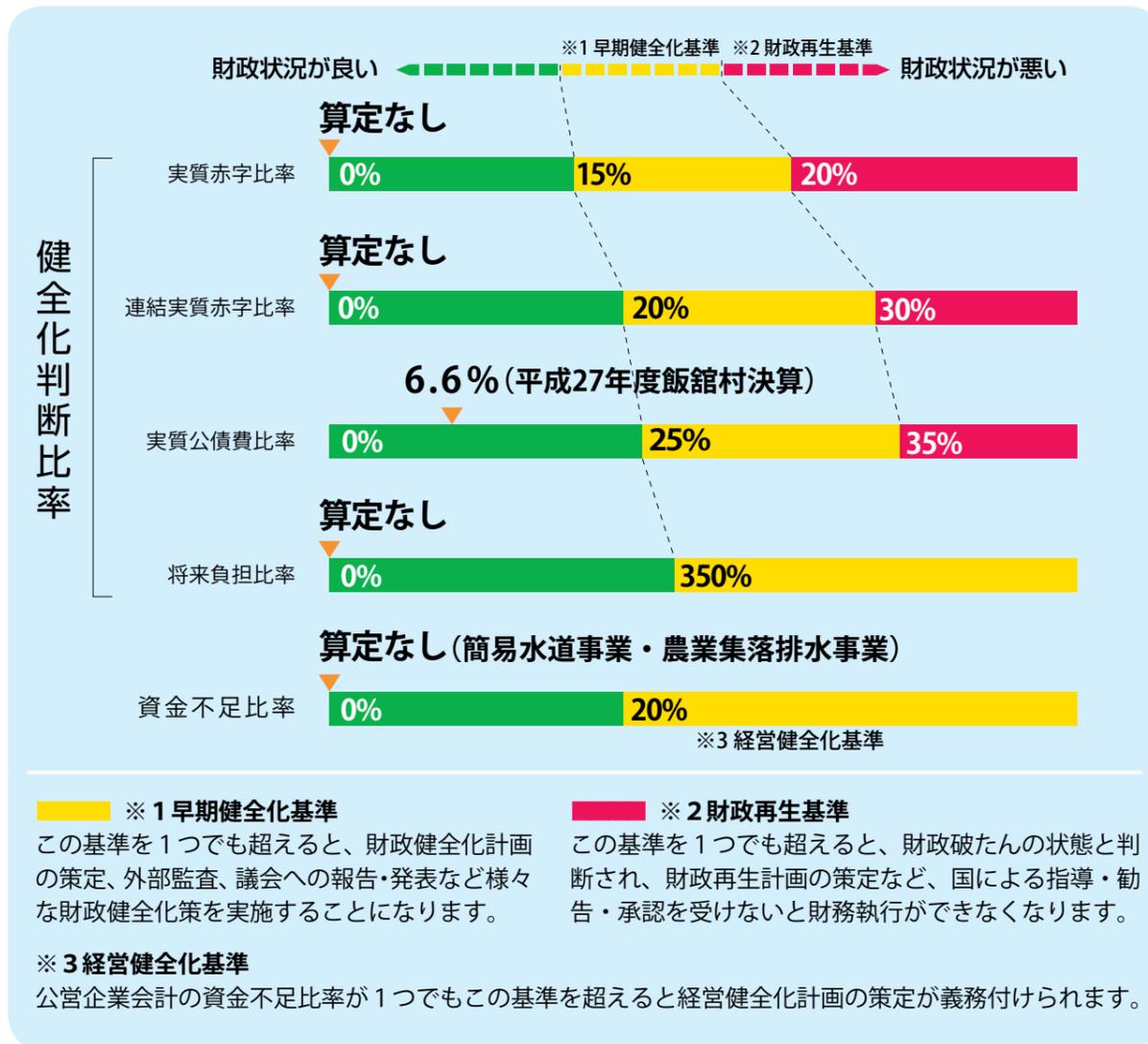


# 飯舘村の 財政状況指標

## 村の財政状況は良好です

平成27年度の決算を基に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定による飯舘村の健全化判断比率等を公表します。

本村の平成27年度健全化判断比率等を算定した結果、4つの指標において早期健全化団体や財政再生団体となる基準を下回りました。平成27年度と比較すると、実質公債比率は変わらず、資金不足比率は昨年度に引き続き算定されない結果となりました。このことから、本村の財政状況は健全な状態になりますが、引き続き、適正な財政運営に努めます。



### 【用語の解説】

- 実質赤字比率**: 一般会計での赤字の程度
- 連結実質赤字比率**: 全会計での赤字の程度
- 実質公債費比率**: 財源の中で借金返済額の占める割合
- 将来負担比率**: 一般会計が将来負担すべき負債の大きさ
- 資金不足比率**: 公営企業会計の事業規模に対する資金不足の割合

## 平成28年度試験栽培作物の食品放射能分析結果

村が平成24年度から継続している草野地内除染後農地での野菜の試験栽培を、今年度も実施しました。

これらの収穫物を検査した結果、全ての野菜について、一般食品中の放射性物質の基準値（1キログラムあたり100ベクレル）を下回りました。

試験栽培された野菜は、検査用サンプルを除いて全量廃棄されました。食品放射能の分析結果は下記のとおりです。

(食品放射能の単位：ベクレル/キログラム)

品目	栽培場所	実施主体	食品放射能 (カッコ内は検出限界値)	実証内容
カボチャ (露地)	草野字向押	村	検出されず (ND<18.9)	セシウムの吸収量の経年調査、地力・収量調査
コムギ (露地)			検出されず (ND<19.6)	
オヤマボクチ ※乾燥 (ごんぼっぱ:露地)			検出されず (ND<27.4)	
オヤマボクチ ※生 (ごんぼっぱ:露地)			検出されず (ND<13.4)	
エダマメ (露地:ほ場東側)			検出されず (ND<19.8)	
エダマメ (露地:ほ場西側)			検出されず (ND<16.7)	
ミニトマト (ハウス内)			検出されず (ND<18.2)	
ナス (ハウス内)			検出されず (ND<13.6)	
キュウリ (ハウス内)			検出されず (ND<7.4)	

※文中の「セシウム」とは放射性セシウム134(半減期2年)、同137(半減期30年)を意味します。  
 ※検出限界値は測定機の性能や、検査室の室温等に左右され、測定ごとに異なります。  
 ※NDとは、「Not Detected(未検出)」の意味で、検出限界値未満のことを言います。  
 ※米については、11月中旬に全袋検査を行います。

### 野菜の出荷制限解除に向けた取り組みについて

野菜の出荷制限・摂取制限解除に向けた実証栽培は、県との協議で村内27か所を実証地に選定。7月22日に栽培協力者への説明を行い、8月から「結球性葉草類、非結球性葉草類、アブラナ科花蕾類、カブ」の実証栽培特定品目である5品目「キャベツ、ホウレンソウ、コマツナ、ブロッコリー、コカブ」の栽培実証を行っています。12月には、平成29年4月の制限解除に向けた収穫物の検査が終了する予定です。なお、制限解除については、国が品目ごとに旧村単位（新館村、大須村、飯舘村、石橋村）で実施することになります。



問 復興対策課農政係(本庁)  
 ☎0244-42-1621